



平成 28 年 2 月 4 日

豆まきをしました



節分の行事として豆まきをしました。鬼のお面をつけた子どもたちが、赤鬼に向かって「おにはそとー、ふくはうちー」元気な声で豆をまきます。

冬から春になる季節の節目には悪いことが起こるとされており、鬼を悪いことに例えて退治するとの説明を集会で聞き、張切って豆をまきました。

360 人もの子供たちに豆を当てられる鬼を見て、年中の女兒が園長に問いかけます。「どうするの鬼？だいじょうぶ？」

私が経験した中で最も優しい豆まきが終わりました。

作品展お待ちしております

先生と一緒に一生懸命に作りました。

糊は指先で薄くつけるのが、早くて美しくつけるコツです。紙に水彩ペンで模様を描き、水に濡らすと、にじんで美しい模様になります。紙に絵の具をおとして半分に折ると、左右対称の絵が出現。たくさんの楽しみが知識や技能となって身につきます。

思わず笑顔になる自分らしい作品ができました。

見に来てください。

お待ちしております。



ある日の保育日誌(年中)から

最近男の子たちと鬼ごっこで遊んでいる。みんな鬼になりたくて「タッチしていいよ」と、みんな鬼になって、鬼同士タッチし合う遊びになっている。それはそれで子どもたちが楽しんでいるのでいいだろうと思うことにしているが、ルールを守って遊ぶ楽しさをもっと味わってほしいと思う。どういう方向にもっていくか、見守りながら考えていく。

子どもとかくれんぼをするのがとても楽しくて、時計を見るのも忘れてしまうほど。〇〇君に「もうお部屋だよ」と言われてしまったが、心の中では「まだ遊びたい…」。

子どもはいつもこういう気持ちなんだと改めて感じた。片付けの際には子どもたちの気持ちを認めて促すようにしていきたい。

**子どもたちが楽しんでいる事の中に、今、伸びつつある力が潜んでいます。
教師は子ども理解を進めながら、新しい学びに導いていきます。**